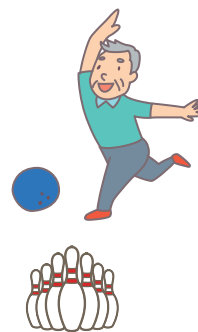
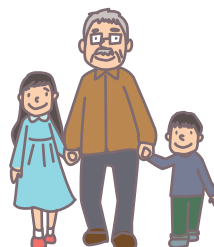
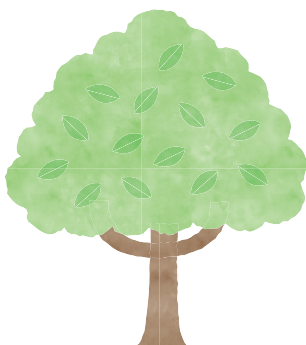




自分の血液で 治癒を促す

慢性化した
痛み
何とかしたい



変形性ひざ関節症の新たな選択肢



ひざの再生医療



APS 療法



APS*

治療とは



患者さん自身の血液を遠心分離してつくられるPRP(多血小板血漿)を関節内に注射することで炎症をすずめ、痛みを軽減するものです。

* Autologous Protein Solution 自己たんぱく質溶液

診察

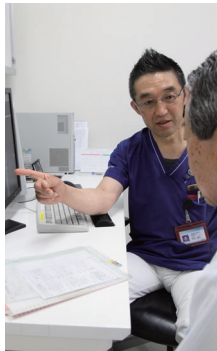
採血

加工

注入

初診日

再診日・約30分、1回で終了



① X線撮影などで診断・診察する



② 約55mlを採血する



③ 血液を遠心分離し、治療に有効とされる高濃度のPRP(=APS)を抽出する



④ 膝関節にAPSを注射で注入する

治療の目的

本治療の目的は関節の痛みや炎症を改善することです。1回の注射で約1~2年間の効果が期待できます。

(個人差あり)

高い安全性

自分の血液を利用する治療法なので、安全性が高く、体への負担も少ないので高齢の方でも受けられます。

簡単な治療法

採血から注射までは30分程で終了します。入院不要ですが、14日間は活動量を最小限にしましょう。

保険外診療

本治療は、保険外(自由)診療となっております。費用は30万円(税別)~です。

ヒアルロン酸注射が効かなくなった

立ち上がるのが億劫...

手術はしたくないけど
痛みをどうにかしたい



治療の対象となるのは //
軽度 ~ **中度** の
変形性ひざ関節症の方

変形性ひざ関節症

痛み・水がたまる
動かしにくい



軟骨のすり減り

関節液の異常



保存療法

消炎鎮痛薬、
ヒアルロン酸注射など

軽度

進行する

重度



手術療法

人工関節など

変形性ひざ関節症で
お困りのかたへ

APS治療を受けたいという方、ご興味のある方は、
近森病院 外来センター 整形外科へご相談ください。